

2021 年度事業報告書

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

2021 年度 活動テーマ

<p style="text-align: center;">三位一体のデザイン型共創社会にむけたアクション —Innovation の枝葉を広げる—</p>
--

今年度は、上記活動テーマのもと以下の内容を中心に活動を行った。

1. 将来をデザインし、共に創る「デザイン型共創社会」において、ヒーブがリーダーとして発信していくことを意識しながら活動した。適宜公開講演会を開催し、東京・関西・九州の一体感醸成と協議会の認知度向上に寄与した。
2. 研究会推進グループは、活動テーマや会員ニーズを反映した月例研究会を企画・運営した。会員の能力・資質向上とネットワーク醸成を目的に、公開講演会(4回)、セミ講演会(7回)、会員交流会(1回)等を実施した。
3. 組織の活性化を図るグループは、会員同士の交流活性化に向けた活動、会員交代や退会された会員のフォローを行った。
4. 広報グループは、協議会の価値・認知度を高めるため、定例活動、講演活動、表彰・マスコミ掲載等や『生活者に役立つ情報発信』を、ホームページや Facebook 等を活用し効果的に発信した。1年間の活動については、広報誌「レポートヒーブ」に取りまとめ、会員企業へのフィードバックをはじめ、協議会の認知度向上や会員拡大に向けた情報発信に寄与した。
5. 調査グループは、「調査・生活者関連情報分科会」をマネジメントし、デザイン型共創社会に向けてヒーブの更なる実践力アップのための冊子を作成した。この冊子制作にあたり、2020 年度に学習した斉藤徹氏の「幸せ視点の経営学」の理論を基にヒーブ自身がチャレンジ実践してきた事例を考察し、「本音で共創」するための組織・チームづくりのヒント集としてまとめ作業を実施。同時に、分科会の運営も「本音で共創」することを念頭において自らチャレンジ実践の場とし、その効果を確認した。
6. 関西支部は、感染対策を徹底し、オフラインも取り入れた運営に取り組んだ。ブランドや経営、消費者関連団体の存在意義等、多様なテーマの学習機会を創出した。
7. 九州支部は、ヒーブ視点と支部の強みを活かした公開講演会を開催し、会員の資質向上と九州支部の知名度向上に努めた。
8. 行政の委員会や会議、自治体・大学での講演について、理事を中心に積極的に派遣した。(計 39 回)
9. 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、Web 会議サービス(Zoom)を用い、オンラインで理事会開催および月例研究会等の運営を行った。
10. 事務局については、人員を 2 名体制とし、会員活動を充実させるべく最適化を図った。

年間テーマにもとづいて月例研究会・分科会を開催し、会員が協議会の運営や研究活動に主体的に携わることで、東京・関西・九州が一体感を持って活動することができた。

2021 年度代表理事 吉村 美衣子

I. 2021 年度事業実績

【グループ活動(東京本部)】

1. 企画グループ

代表理事の諮問機関として、協議会運営が円滑かつ効果的に行われるよう努めるとともに、行政・他団体等と積極的な情報交換を行い、協議会の活動を社会にアピールした。

(1) 理事会の開催

Web 会議サービス (Zoom) を用いて開催し、出席者の音声即時に他の出席者に伝わることを確認し、議事に入った。

理事会	4 月 16 日 (金)	5 月 12 日 (水)	6 月 9 日 (水)
	7 月 6 日 (火)	8 月 5 日 (木)	9 月 7 日 (火)
	10 月 7 日 (火)	11 月 9 日 (火)	12 月 10 日 (金)
	1 月 14 日 (金)	2 月 8 日 (火)	3 月 8 日 (火)
	準備理事会	3 月 24 日 (木)	

(2) 生活者・企業・関連団体等への情報発信

協議会が作成した冊子等を活用し、生活者・企業・行政の目指すべき方向性や具体アクションについて、講演会や Facebook 等を通じ情報発信を行った。

(3) 行政・関連団体等が主催する行事への参画

以下のとおり、行政の委員会や会議、関連団体のシンポジウム等へ、理事・監事が中心に参画した。

実施日	内容	主催	エリア	出席者
5 月 10 日 (月)	第 29 回消費者教育推進会議	消費者庁	東京 オンライン	元理事 藤脇智恵子
5 月 21 日 (金)	第 1 回 2021 年度消費者志向経営の推進に関する有識者検討会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
6 月 10 日 (木)	第 2 回 2021 年度消費者志向経営の推進に関する有識者検討会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
6 月 17 日 (木)	第 1 回消費者問題調査会	自民党政調会	東京	副代表理事 鈴木聖子
6 月 22 日 (火)	第 2 回消費者問題調査会	自民党政調会	東京	副代表理事 中村尚美
6 月 29 日 (火)	第 3 回消費者問題調査会	自民党政調会	東京	副代表理事 鈴木聖子
7 月 6 日 (火)	第 4 回消費者問題調査会	自民党政調会	東京	副代表理事 鈴木聖子
7 月 16 日 (金)	第 1 回消費者志向経営に関する連絡会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
7 月 20 日 (火)	第 3 回 2021 年度消費者志向経営の推進に関する有識者検討会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
7 月 20 日 (火)	第 24 回神戸市消費生活会議	神戸市消費生活センター	関西	関西支部長 木谷あゆみ
8 月 4 日 (水)	男女共同参画推進連携会議 聞く会	内閣府男女共同参画局	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 中村尚美
8 月 19 日 (木)	第 2 回消費者志向経営に関する連絡会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
8 月 27 日 (金)	2021 年度第 1 回キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた環境整備検討会	経済産業省	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子

実施日	内容	主催	エリア	出席者
9月8日 (水)	第5回2021年度消費者志向経営の推進に関する有識者検討会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
9月16日 (木)	第3回消費者志向経営に関する連絡会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
9月17日 (金)	第30回消費者教育推進会議	消費者庁	東京 オンライン	元理事 藤脇智恵子
9月28日 (火)	神戸市消費者苦情処理審議会	神戸市消費生活センター	関西	関西支部長 木谷あゆみ
10月18日 (月)	2021年度第2回キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた環境整備検討会	経済産業省	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子
10月21日 (木)	第4回消費者志向経営に関する連絡会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
10月28日 (木)	第2回2024年度消費者志向経営の推進に関する有識者検討会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
11月18日 (木)	第5回消費者志向経営に関する連絡会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
12月13日 (月)	第6回2021年度消費者志向経営の推進に関する有識者検討会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
12月16日 (木)	第5回消費者問題調査会	自民党政調会	東京	代表理事 吉村美衣子
12月17日 (金)	第6回消費者志向経営に関する連絡会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
1月20日 (木)	第7回消費者志向経営に関する連絡会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
1月20日 (木)	ACAP 新春講演会(大阪)	消費者関連専門家会議	関西 オンライン	関西支部長 木谷あゆみ
1月25日 (火)	ACAP 新春講演会(東京)	消費者関連専門家会議	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子
1月31日 (月)	男女共同参画推進連携会議 業界における女性の活躍推進チーム	内閣府男女共同参画局	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子
2月9日 (水)	第31回消費者教育推進会議	消費者庁	東京 オンライン	特別会員 (元代表理事) 宮木由貴子
2月15日 (火)	第7回2021年度消費者志向経営の推進に関する有識者検討会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子
2月16日 (水)	第8回消費者志向経営に関する連絡会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
2月18日 (金)	ACAP 2022 消費者志向経営トップセミナー	消費者関連専門家会議	東京	理事 脇田真知
3月2日 (水)	2021年度第3回キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた環境整備検討会	経済産業省	東京 オンライン	副代表理事 鈴木聖子
3月9日 (水)	令和3年度消費者志向経営優良事例表彰の表彰 (SDGs フォーラムシンポジウム 消費者共創会議)	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美 理事 脇田真知
3月22日 (火)	神戸市消費者苦情処理審議会	神戸市消費生活センター	関西	関西支部長 木谷あゆみ
3月23日 (水)	第8回2021年度消費者志向経営の推進に関する有識者検討会	消費者庁	東京 オンライン	代表理事 吉村美衣子 副代表理事 鈴木聖子 副代表理事 中村尚美
3月23日 (水)	第6回消費者問題調査会	自民党政調会	東京	理事 松谷陽子
3月31日 (木)	第7回消費者問題調査会	自民党政調会	東京	副代表理事 中村尚美

実施日	内容	主催	エリア	出席者
2022年3月～	第2弾マイナポイント 審査委員会	総務省 キャッシュレス推進協議 会	東京	—

(4) 行政機関との連携

- ・消費者庁とは、消費者志向経営推進組織メンバーとしての活動、東京の月例研究会における消費者白書の解説(消費者調査課)ならびに消費者基本計画の解説(消費者政策課)、「消費者基本計画一部改定素案」に関する意見募集について等へ協議会としての意見の提出、消費者教育推進会議への会員派遣等、継続的な連携を行っている。
- ・内閣府とは、男女共同参画推進連携会議議員として参画し、連携を深めている。
- ・経済産業省とは、キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた環境整備検討会への理事派遣を行っている。

(5) 税理士訪問・相談

10月28日、3月22日に染谷税理士を訪問し、会計および事業活動の進捗状況を報告し、会計の適正運用について確認・相談を実施した。

2. 研究会推進グループ

会員の能力・資質の向上およびネットワーク醸成に向け、以下の取り組みを通じて会員の積極的な参画意識を高め、協議会活動のメリットを実感するとともに、会員相互のコミュニケーション強化・支援を図った。

(1) 2021年度(第19回)総会・公開講演会・情報交換会の運営

新体制での新たなスタートを迎えるべく、会員や会員上司・同僚、行政等の方々をお迎えし、公開講演会を行った。情報交換会については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催を中止した。

<公開講演会>

開催日：4月16日(金)

会場：明治安田生命丸の内MYPLAZA会議室

司会：松原愛 サントリーコミュニケーションズ(株)

参加者：公開講演会 76名

テーマ：消費者・行政・事業者が目指すべきこれからの「消費者志向経営」

講師：消費者庁長官 伊藤 明子氏

総会については、【グループ活動】3. 組織の活性化を図るグループ(1)を参照。

(2) 月例研究会の運営

- ・活動テーマにもとづき、①公開講演会(7月・8月・1月・2月)②セミ講演会(6月・9月・10月・11月・12月・1月・3月)③会員交流(5月)等のテーマを選定し、会員ニーズを反映しながら講演内容の充実を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大にともない、オンライン(Zoom)開催を中心とした運営を行った。
- ・会員外へのヒーブ活動の周知を目的とし、月例研究会のFacebook記事を作成し、発信した。
- ・協議会活動への周知を目的とし、一般の方も参加できる公開講演会を適宜実施した。
- ・会員間の情報共有を目的とし、分科会持ち回りで月例研究会のレポートを作成し、ホームページで発信した。

・会員間の情報共有を目的とし、講演会・分科会活動の動画を撮影し、YouTubeにて配信した。

【月例研究会詳細】

No.	実施日・会場	主催	名称	講演テーマ・講師	出席者数
1	5月18日(火) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険(相) MYPLAZA 会議室	東京	5月度 月例研究会	◇わいわいタイム ◆2021年度活動説明(キックオフミーティング) ◆会員交流会	活動紹介 46名 会員交流 41名
2	6月23日(水) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険(相) 新東陽町ビル会議室	東京	6月度 月例研究会	◇わいわいタイム ◆分科会活動 キックオフミーティング ◆セミ公開講座 ①「消費者基本計画」について 講師:消費者庁消費者政策課長 内藤茂雄氏 ②「令和3年版消費者白書」について 講師:消費者庁参事官(調査・物価等担当) 吉田充志氏	分科会 41名 講座 70名
3	7月21日(水) オンライン(Zoom) ドーンセンター(大阪府立 男女共同参画・青少年セン ター) 明治安田生命保険(相) MYPLAZA 会議室	関西	7月度 月例研究会	◇わいわいタイム ◆分科会活動 ◆公開講座 アフターコロナのPR 講師:(株)TM オフィス PRプロデューサー (一社)地方PR機構 代表理事 殿村美樹氏	分科会 34名 講座 61名
4	8月23日(月) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険(相) MYPLAZA 会議室	九州	8月度 月例研究会	◆公開講座 看護の視点から紐解く「健康経営」の姿 みんなが 安心して心身ともに働くことができる環境の視点 ～率直な悩みや課題を看護の視点からアドバイス 講師:(大)佐賀大学教育研究院医学領域医学系看 護学科小児看護学領域 教授 鈴木智恵子氏	58名
5	9月10日(金) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険(相) MYPLAZA 会議室	東京	9月度 月例研究会	◇わいわいタイム ◆分科会活動 ◆セミ公開講座 誰もが働きやすい環境を目指して～フェムテック で働き方が変わる!?～ 講師:(一社)シンクパール 栗本真希氏 SOMPO ひまわり生命保険(株) 蓮井智子氏	分科会 35名 講座 61名
6	9月28日(火) オンライン(Zoom) OMM(旧:大阪マーチャング イズ・マートビル) 明治安田生命保険(相) MYPLAZA 会議室	関西	9月度 月例研究会 (ACAP 西日 本支部合 同)	◆セミ公開講座 消費者関連事業者団体の社会的意義と経営参画を 考える 講師:(公財)関西消費者協会 理事 元 ACAP 理事長 同志社大学大学院 ビジネス研究科 教授 蔵本一也氏	26名
7	10月27日(水) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険(相) 新東陽町ビル会議室	東京	10月度 月例研究会	◇わいわいタイム ◆分科会活動 ◆セミ公開講座 明るく、元気で、風通しのよい会社を目指すた めに～“ハミダス活動”を通じたコロナ禍におけ るコミュニケーション 講師:(株)ニチレイフーズハミダス推進部 出張工場見学フェロー 鈴木清隆氏	分科会 39名 講座 56名
8	11月19日(金) オンライン(Zoom) OMM(旧:大阪マーチャング イズ・マートビル) 明治安田生命保険(相) MYPLAZA 会議室	関西	11月度 月例研究会 (ACAP 西日 本支部合 同)	◆セミ公開講座 企業活動、職場環境におけるジェンダー問題 講師:うるわ総合法律事務所弁護士 仲岡しゅん氏	25名

No.	実施日・会場	主催	名称	講演テーマ・講師	出席者数
9	11月30日(火) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険(相) MYPLAZA 会議室	東京	11月度 月例研究会	◇わいわいタイム ◆分科会活動 拡大分科会 ◆セミ公開講座 新しい生活様式における企業の取り組みについて 学ぶ 講師:アサヒビール(株)品質保証部お客様相談室林 真由美氏 日本生命保険(相)お客様サービス部 担当部長兼コールセンター長 大木直宏氏	分科会 30名 講座 71名
10	12月16日(木) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険(相) MYPLAZA 会議室	東京	12月度 月例研究会	◇わいわいタイム ◆分科会活動 ◆セミ公開講座 だから僕たちは、組織を変えていける～やる気に 満ちた「やさしい組織」のつくりかた 講師:ビジネス・ブレイクスルー大学経営学部教授 (株)ループス・コミュニケーションズ 代表取締役 斉藤徹氏	分科会 35名 講座 51名
11	1月21日(金) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険(相) 新東陽町ビル会議室	東京	1月度 月例研究会	◇わいわいタイム ◆分科会活動 ◆公開講座 2022年のトレンド予測から読み解く消費者動向 —with コロナ時代の消費者ニーズを考える— 講師:サイバー大学IT総合学部教授 商品ジャーナリスト 北村森氏	分科会 31名 講座 64名
12	1月26日(水) オンライン(Zoom) gomacroSalon 京都烏丸御池	関西	1月度 月例研究会	◆セミ公開講座 講演・バーチャル工場見学 食品ロス削減のための企業の取り組み —ごまかしなしのごま油製造への思い— 講師:(株)山田製油代表取締役社長 山田康一氏	23名
13	2月24日(木) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険(相) MYPLAZA 会議室	九州	2月度 月例研究会	◇わいわいタイム ◆分科会活動 ◆公開講座 働き方が、会社が、地域が変わるDXの可能性 ～あなたは10年後、どう働いていますか？ 講師:(株)第一生命経済研究所 ライフデザイン研究部主席研究員 柏村祐氏	分科会 30名 講座 60名
14	3月11日((金)) オンライン(Zoom) 明治安田生命保険(相) 新東陽町ビル会議室	東京	3月度 月例研究会	◇わいわいタイム ◆分科会活動 活動発表 ◆セミ公開講座 活躍するヒーブ会員・OG 講師:(株)シンク・オブ・アザーズ 代表取締役 難波裕扶子氏 (一社)大授 代表理事 高田かおり氏	分科会 40名 講座 49名

※ ◇わいわいタイムは任意参加

(3) わいわいタイムの運営

オンラインでの会員交流を推進するため、各自が興味のある話題で気軽に話し合える場(任意参加)を新たに創設した。

(4) 分科会の運営

毎月の分科会活動では、下記4つの研究テーマに分かれ、異業種交流の特徴を活かした情報交換や議論を積極的に行った。

- ① お客様対応を考える分科会

- ② 調査・生活者関連情報分科会
- ③ 商品・サービス研究分科会
- ④ 月例会企画・運営分科会

3. 組織の活性化を図るグループ

協議会の基盤整備ならびに会員の積極的な活動参画に向けて以下の活動に取り組んだ。

(1)2021 年度(第 19 回)総会の運営

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、会場と Web 会議サービス (Zoom) を用いたハイブリッド形式で定時社員総会を開催した。なお、会場及びオンライン出席者の声が即時に互いに伝わり、一堂に会すると同等に適時的確に意見表明が互いにできることを確認して開催した。

役割		担当
司会	総合司会	松原愛 サントリーコミュニケーションズ (株)
議長団	議長	中村さやか 花王 (株)
	書記	久保川智美 日本生命保険 (相)
報告者	2020 年度事業報告	2020 年度代表理事：吉村美衣子 損害保険ジャパン (株)
	2020 年度決算報告	2020 年度会計：篠かおり アフラック生命保険 (株)
	監事による事業及び会計監査報告	監事：有富菜穂子 (株) Mizkan Holdings 監事：林真由美 アサヒビール (株)
	2021 年度役員選任	選挙管理委員長：花田泉 クリエイティブオフィスビーンズ
	2021 年度事業計画	2021 年度代表理事：吉村美衣子 損害保険ジャパン (株)
	2021 年度予算計画	2021 年度会計：中村尚美 日新製糖 (株)

(2) 会員の管理と拡大

- ・異業種交流のメリットを活かすため、6 月に会員名簿の情報更新を行った。併せて、会員の保有資格や特技等の調査を行い、会員の推薦・講師派遣に向けての会員データ構築を継続した。

(3) 会員継続および新規加入への働きかけ

- ・協議会の活動について説明し、会員継続および新規加入等の働きかけを積極的に行った。
- ・会員交代および退会される会員に対し、活動への参加を促すフォローを行った。
- ・賛助会員企業に対して、活動への理解を得て継続を依頼した。

(4) 定款施行規則の改定

2021 年度は定款施行規則の改定なし

(5) 会員へのガイダンス

協議会に関する会員の理解を深める目的で、5 月度月例研究会のキックオフミーティングにおいて、協議会の概要、活動テーマ、スケジュール等を代表理事より説明した。

(6) 理事会だよりの発行

理事会の議題の中からトピックスをまとめ、会員に報告した。

(7) 理事・監事選挙

- ・2022年度役員選出のための選挙管理委員会を発足させ、選挙活動が滞りなく進むよう補佐した。
- ・2021年度に引き続きWeb投票とし、コストや作業軽減にも貢献した。

【選挙管理委員会】

	支部	氏名	会社名
委員長	東京	丹野 富美恵	富国生命保険（相）
委員	東京	三田まり子	（株）販売促進研究所

- ・選挙の結果、代表理事候補者1名、留任理事候補者5名、新任理事候補者6名、新任監事候補者1名が信任された。

4. 広報グループ

協議会の価値・認知度を高めることを目指し、以下の広報活動に取り組んだ。

(1) 「レポートヒーブ」「What is HEIB?」の発行

機関誌「レポートヒーブ」を発行し、1年間の活動報告を行った。また、「What is HEIB?」を更新し、会員だけでなく非会員企業へのPRに活用することができた。

(2) ホームページ・Facebookの運営

より効果的かつタイムリーな情報発信を目的に、ホームページとFacebookを活用して協議会の認知度向上や会員拡大に向けた取り組みを行った。Facebookでは、会員企業から生活者に役立つ情報を募集し、発信を行った。

(3) 講演会等

以下のとおり、自治体・大学への講演会等へ講師を派遣した。

実施日	主催	講演テーマ	講師
6月17日(木)	関西学院大学	経済学部「経済事情E」 企業と生活者をつなぐ —消費者市民社会と消費者志向経営の実現に向けて—	関西支部長 木谷あゆみ
8月6日(金)	(一財)大阪府男女共同 参画推進財団	女子高生のためのサマースクールガールアップセミナー2021	関西支部 宮前素代 関西支部 植村知佐子
8月7日(土)	(一財)大阪府男女共同 参画推進財団	女子高生のためのサマースクールガールアップセミナー2021	関西支部 植村知佐子
8月24日(火)	大阪府消費生活センタ ー	大学生期における消費者教育推進事業 消費者教育リーダー養成講座 応用講座「消費者教育の基礎理解②企業活動からみる」 企業の消費者教育活動について	関西支部長 木谷あゆみ
9月29日(水)	消費者市民教育研究会 (任意団体) 代表：全相協 関西副 支部長	9月例会 消費者教育の企業によるアプローチ	関西支部長 木谷あゆみ
11月6日(土)	大阪府消費生活センタ ー	大阪府消費者教育学生リーダー養成講座「企業×学生交流会」	関西支部長 木谷あゆみ
11月20日(土)	大阪府消費生活センタ ー	大阪府消費者教育学生リーダー養成講座「企業×学生交流会」	代表理事 吉村美衣子
12月13日(月)	神戸学院大学	共通教育「現代の社会（消費者問題）」 企業と生活者をつなぐ —消費者市民社会と消費者志向経営の実現に向けて—	関西支部長 木谷あゆみ
12月22日(水)	甲南大学	基礎共通科目（消費者問題） 消費者の声の反映	関西支部長 木谷あゆみ
12月23日(木)	神戸学院大学	共通教育「現代の社会（消費者とリスク）」 企業と生活者をつなぐ —消費者市民社会と消費者志向経営の実現に向けて—	関西支部長 木谷あゆみ

<出版物・印刷物>

名称	発行年月	発行部数	内容
レポートヒーブ 80号	2022年4月	500	東京・関西・九州の会員コメントや写真を掲載し、当協議会の年間活動報告をわかりやすく紹介
What is HEIB?	2022年4月	500	当協議会の活動内容や入会案内等を掲載

<マスコミ等記事掲載【所信表明関連】>

新聞名・誌名	社名・団体名	掲載日	タイトル
日本消費経済新聞	日本消費経済新聞社	2022年1月1日号	「年頭所感」代表理事 吉村美衣子 関西支部長 木谷あゆみ 九州支部長 難波裕扶子
消費と生活(No363)	(株)消費と生活社	2022年1・2月号	「年頭所感」代表理事 吉村美衣子
ニッポン消費者新聞	日本消費者新聞社	2022年1月1日号	「年頭所感」代表理事 吉村美衣子

<マスコミ等記事掲載【その他】>

新聞名・誌名	発行者	掲載日	タイトル
ニッポン消費者新聞	日本消費者新聞社	2021年5月1日号	日本ヒーブ協議会 今年度活動テーマ決定
消費と生活(No359)	(株)消費と生活社	2021年5・6月号	ヒーブ協議会 総会及び公開講演会
クリム	生活協同組合連合会 コープ九州事業連合	2021年5月号	SDGsで世界を変えよう！ <宮崎県>高校生・大学生・企業が一丸となって考える 自分たちがつくる宮崎の明るい未来
消費と生活(No361)	(株)消費と生活社	2021年9・10月号	アフターコロナのPR

5. 調査グループ

調査グループの今年度はデザイン型共創社会に向けたヒーブの更なる実践力アップのための冊子を作成した。この冊子は「新しい価値」を生むための「本音で共創」するステップの提案書であり、2020年度に学習した斉藤徹氏の「幸せ視点の経営学」の理論を基にヒーブ自身がチャレンジ実践してきた事例を集約考察し、「本年で共創」するための組織・チームづくりのヒント集としてまとめた。また、この冊子を制作するにあたり、分科会の運営も「本音で共創」することを念頭におき、冊子内で提案しているステップの自ら実践チャレンジの場とし、その効果を確認した。

(1) 活動形態

「調査・生活者関連情報分科会」として活動を行った。

(2) 活動内容

実施日	内容
6月23日(水)	<分科会活動> 冊子構成の検討
7月21日(水)	<分科会活動> 冊子構成の検討
9月10日(金)	<分科会活動> 冊子内容の検討
10月27日(水)	<分科会活動> 基本部分の検討及びヒーブの実践例取り込みの検討
12月16日(木)	<分科会活動> 基本部分及びヒーブ実践例の検討
1月21日(金)	<分科会活動> 基本部分及びヒーブ実践例の検討
2月24日(木)	<分科会活動> 冊子校正
3月11日(金)	<分科会活動> 冊子校正および年間活動発表打ち合わせ

この他、数度にわたり Zoom で打ち合わせを実施した。

【支部活動】

1. 関西支部

コロナ禍ではあるが、感染対策を十分に行い、オフラインも取り入れた運営に積極的に取り組んだ。支部大会、バーチャル工場見学、ACAP 西日本支部との合同例会を開催し、新しい連携、協働を生み出した。

7月には、組織が存続、持続可能な経営を行っていくにあたり、必要不可欠である「ブランド」について、「ひこにゃん」や今年の漢字をブレイクさせた事例に基づき学習を深めた。コロナ禍以降、感情を突く（共感をよぶ）ことがPRの最優先となっていることを学んだ。9月、11月はACAP 西日本支部とヒーブの関西支部合同で例会を実施した。9月には消費者関連団体それぞれの存在意義について問い直し、私たちが果たすべく役割は何であるのかをそれぞれの立場から意見を交わし、理解を深めた。11月はジェンダー問題について、トランスジェンダーである弁護士から実体験に基づいたご講演をいただき、SOGI など用語理解と、組織が適応できない場合に潜在するリスクについてご説明いただいた。1月には京都で88年の歴史を誇るごま油製造工場のバーチャル工場見学を行い、講師より同社の食品ロス削減の取り組みと経営哲学をお話いただいた。

一年の活動を通して、会員一人ひとりがヒーブとして、企業等で働く社会人として、一人の生活者として等のそれぞれの立場から自らの存在価値を問い直し、再認識することができた。

【関西支部理事】

支部長 木谷あゆみ イカリ消毒(株)

<活動実績>

(1) 月例研究会活動

① 月例研究会（詳細については、2. 研究会推進グループ(2) 月例研究会の運営を参照）

- ・ヒーブとして求められる資質（現状把握力・問題発見力・判断力、問題解決力・プレゼンテーション力等）と能力の向上を目指し、多様なテーマで講演会等を実施した。
- ・ACAP 西日本支部との合同例会を2回開催し、上司・同僚や他団体から参加いただき、協議会への理解を深めていただくとともに、交流の機会を創出した。
- ・協議会活動を通じて、会員一人ひとりがさらなるレベルアップ・スキルアップを図るため、月例研究会では、参加者同士がディスカッションできる機会を設けた。

② 運営制度

感染対策を十分に行い、オフラインも取り入れた運営に積極的に取り組んだ。

③ 月例研究会の記録

開催レポートやアンケート結果等を会員に報告し、研究会活動で得た情報の共有・定着を図った。

(2) 広報活動

他団体・行政・大学との交流や関連団体等と協働しながら当協議会の情報発信や消費者教育活動等を行った。

(3) 組織活動

① ガイダンスミーティング

- ・新入会員を対象にガイダンスミーティングを実施し、当協議会についての理解を深めた。

② 振り返り

- ・今年度の活動や運営について良かった点と課題を話し合い、会員の負担軽減に向けた改善を行った。

(4) 行政・関連団体の主催する行事等への参画、講演会への講師派遣

行政の委員会・会議、関連団体の会合への参加、自治体・大学の講演会等へ講師を派遣した。
詳細については、【グループ活動】 1. 企画グループ(3)、4. 広報グループ(3)を参照。

(5) 今後の課題

- ① 運営において、会員の負担軽減と会員所属企業へのより効果的な成果のフィードバックを目的に、レポート、Facebook 等を活用する。
- ② 月例研究会の開催日は年度初めに年間計画を策定し、参加率の向上を目指す。
- ③ 支部 LINE を活用し、会員を巻き込む、また、オフラインの機会を設ける等、会員同士の連携強化を図る。
- ④ 関連団体と連携し、支部の会員企業を増加させる。
- ⑤ 次年度以降の支部運営について、理事会において早急に検討していく。

2. 九州支部

今年度の活動テーマにもとづき、ヒーブ視点と九州支部の強みを活かした講演会を一般の方々も参加できる公開講演として、オンラインで開催し、会員の資質向上と九州支部の知名度向上に努めた。いずれも今の時代に即した内容、これから必要な知識や情報、スキルであり、会員のみならず会員企業の上司同僚や一般参加の方々より高い評価をいただくことができた。

運営は全てオンラインであったが、参加機会の創出により東京・関西との連携と、九州支部会員相互のコミュニケーションを深め、活力ある組織づくりが実現できた。

【九州支部理事】

支部長 難波裕扶子 (株) シンク・オブ・アザーズ

<活動実績>

(1) 月例研究会活動

- ① 月例研究会 (詳細については、2. 研究会推進グループ(2)月例研究会の運営を参照)
 - ・東京・関西の月例研究会のオンライン(Zoom)での受講が可能となり、支部会員も積極的に参加できる環境となった。これにより、学びの機会を得ただけでなく東京や関西の会員との交流が深まった。
 - ・協議会活動への周知を目的とし、一般の方も参加できる公開講演会として実施するよう意識した。
 - ・九州の大学教授等に講師としてご登壇いただき地方から発信したことで、支部の認知度向上を図った。

- ② 運営制度

新型コロナウイルス感染症拡大にともない、全てオンライン(Zoom)開催を中心とした運営を継続した。

(2) 広報活動

公式 Facebook を活用して講演会等の情報発信を行った。

(3) 組織活動

オンライン(Zoom)を活用し、支部会員全員で適時運営委員会を開催し、知恵を出し合うことで会員同士の結束を図った、デジタルコミュニケーションにチャレンジすることで、会員それぞれの事業活動へ活かすことに貢献した。

(4) 今後の課題

- ① 九州支部の活動ならびに組織運営が持続可能な活動となる
- ② 会員各々の役割に応じた、一人ひとりが輝ける場を意識した活動
- ③ 社会の潮流や兆しを分析し、会員企業のみならず社会が求める公開講座・月例研究会の実施
- ④ 会員拡大

II. 組織

2021 年度は、以下の役員および運営グループ等にて運営を行い、理事会を実施し具体的な活動に取り組んだ。

【役員】

代表理事	吉村 美衣子	損害保険ジャパン株式会社
副代表理事	鈴木 聖子	明治安田生命保険相互会社
副代表理事	中村 尚美	日新製糖株式会社
理事	影田 明日香	株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所
理事	松谷 陽子	株式会社ニッポン
理事	脇田 真知	サンスター株式会社
関西支部		
支部長	木谷 あゆみ	イカリ消毒株式会社
九州支部		
支部長	難波 裕扶子	株式会社シンク・オブ・アザーズ
監事	有富 菜穂子	株式会社 Mizkan Holdings
監事	林 真由美	アサヒビール株式会社

【運営グループ担当理事】

企画グループ	リーダー	吉村 美衣子
研究会推進グループ	リーダー	鈴木 聖子
組織の活性化を図るグループ	リーダー	影田 明日香
調査グループ	リーダー	脇田 真知
広報グループ	リーダー	松谷 陽子
関西支部	支部長	木谷 あゆみ
九州支部	支部長	難波 裕扶子

【会員数】2022 年 3 月 31 日現在

正会員	61 名
うち関西支部	7 名
うち九州支部	5 名
休会	1 名
個人会員	4 名
賛助会員(法人)企業数	26 社
賛助会員(個人)	8 名
特別会員	23 名

【事務局】

〒151-0053
 東京都渋谷区代々木 2 丁目 30 番 4 号 C-002
 TEL03-6869-0428
 URL <http://www.heib.gr.jp>
 E-mail:heib-jimukyoku@heib.gr.jp
 志保沢久子
 助川文緒

2021年度 収支決算報告書

自 2021年 4月 1日
至 2022年 3月 31日

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

1. 一般会計

<収入の部>

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
前 期 繰 越 金	865,659	865,659	0
会 費			
正 会 員	3,900,000	3,775,000	125,000
個 人 会 員	90,000	82,000	8,000
小 計	3,990,000	3,857,000	133,000
入 会 金			
正 会 員	90,000	60,000	30,000
個 人 会 員	0	0	0
小 計	90,000	60,000	30,000
賛 助 会 費			
法 人	1,350,000	1,350,000	0
個 人	100,000	55,000	45,000
小 計	1,450,000	1,405,000	45,000
雑 収 入			
預 貯 金 利 息	0	105	△ 105
特 別 例 会 費	53,000	8,000	45,000
そ の 他	117,000	226,320	△ 109,320
小 計	170,000	234,425	△ 64,425
収 入 合 計	5,700,000	5,556,425	143,575
総 合 計	6,565,659	6,422,084	143,575

<支出の部>

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
活 動 費 (東京・関西・九州合計)	1,761,500	925,626	835,874
東京	1,336,500	726,399	610,101
企画活動	5,500	6,804	△ 1,304
研究会推進活動	450,000	235,050	214,950
組織の活性化を図る活動	338,000	5,500	332,500
広報活動	493,000	424,045	68,955
調査活動	50,000	55,000	△ 5,000
関西	350,000	153,931	196,069
九州	75,000	45,296	29,704
運 営 費	3,661,600	3,382,567	279,033
地代家賃	554,400	556,600	△ 2,200
人件費	1,750,000	1,886,284	△ 136,284
税理士報酬	367,200	367,200	0
運賃・通信費	300,000	186,063	113,937
交通費	250,000	127,646	122,354
会議費	10,000	5,500	4,500
消耗品費	200,000	100,936	99,064
印刷費	50,000	30,820	19,180
支払手数料	60,000	33,594	26,406
交際費	10,000	4,246	5,754
租税公課	100,000	83,176	16,824
雑費	10,000	502	9,498
支 出 合 計	5,423,100	4,308,193	1,114,907
当 期 剰 余 金	1,142,559	2,113,891	△ 971,332
総 合 計	6,565,659	6,422,084	143,575

貸借対照表

2022年3月31日現在

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

(単位：円)

資産の部		負債及び剰余金の部	
現金	24,611	預り金	36,886
普通預金	12,369,556	未払費用	73,700
前払費用	0	未払金	216,635
電話加入権	72,800	前受金	1,059,000
保証金	35,000	基本金	6,601,855
		調査費積立金	200,000
		周年行事積立金	2,000,000
		ホームページ構築積立金	200,000
		前期繰越正味財産額	865,659
		正味財産増加額	1,248,232
合計	12,501,967	合計	12,501,967

正味財産増減計算書(案)

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額
I 増加の部	
1. 資産増加額	-
増加額合計	-
II 減少の部	
1. 資産減少額	
周年記念事業費	400,000
ホームページ構築費	800,000
減少額合計	1,200,000
当期正味財産増加額	1,248,232
前期繰越正味財産額	865,659
合計額	913,891

財産目録

2022年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金手許有高	24,611	未払金3月給与	216,635
普通預金 三菱UFJ銀行原宿支店	11,962,531	未払費用	73,700
" " (関西支部)	133,204	前受金翌期会費	1,059,000
" " (九州支部)	273,821	預り金源泉所得税	36,886
流動資産合計	12,394,167	流動負債合計	1,386,221
2. 固定資産			
保証金 Y. C. S	35,000		
電話加入権	72,800		
固定資産合計	107,800		
資 産 合 計	12,501,967	負 債 合 計	1,386,221

監査報告書

定款第 32 条より 2021 年度の会務並びに会計につき監査を行った結果、
下記のとおり報告いたします。

記

1. 会務は滞りなく運営され、予算の執行状況は適正である。
2. 現金、預金については適正、確実に管理保管されている。
3. 帳簿および証拠書類は正確に記入、保存されている。

2022 年 4 月 5 日

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

監事 有富 菜穂子



監事 小野 真由美

